

1966年(昭和41年)東京海上火災本社ビル建替えの「丸の内美観論争」を皮切りに、
1987年(昭和62年)の東京駅赤レンガ駅舎保存運動、1997年(平成9年)丸ビル保存運動など、
皇居周辺の歴史文化と景観を守るさまざまな運動や論争がありました。

現在ご存知のように、東京中央郵便局の建替え計画に対し
「東京中央郵便局を重要文化財にする会」が設立され、国会議員が超党派で参加するなど、
その動向が市民、学者の間で愁眉の課題になっています。

こうした急ピッチの再開発の背景には、1996年東京都による「区部中心部整備指針」を転機に、
都心の一極集中を是正するという政策を東京都が再集中の方向に大きく舵を切ったということがあります。
1988年「丸の内再開発計画」(マンハッタン計画)が発表された当初は、
さまざまな議論があったものの、それはその後「官民協同の公共事業」として事実上認知されるに至りました。
そうした中で、首都東京の景観の要、江戸を引き継ぐ国民共有の財産である皇居の景観を保持することが
困難な状況にまで至っています。

地元千代田区議会からは「東京中央郵便局建造物保存を求める要望」「皇居周辺の景観保存」に関して
「特別の措置を国に求める」意見書が、平成20年7月4日に全会一致で提出されています。

そこで、この間の皇居周辺の景観に関わる動きを検証し、今できることは何か、
将来に向けてどうすべきであるのか、第一線でこの問題を論じてこられた方々とともに
考える場を持ちたいと思います。みなさまのご参加をお待ちしています。

パネリスト

西村幸夫氏 ・ 東京大学大学院教授

五十嵐敬喜氏 ・ 法政大学教授

陣内秀信氏 ・ 法政大学教授

鈴木博之氏 ・ 東京大学大学院教授

司会

福川裕一氏 ・ 千葉大学大学院教授

資料解説

川西崇行氏 ・ 早稲田大学教育・総合科学学術院講師

会費 1000円

主催 東京の顔「丸の内」を守る会、皇居周辺の景観を考える会

問い合わせ先 皇居周辺の景観を考える会事務局

mail : info@machi-kaeru.com tel : 03-6380-8818

ホームページ http://machi-kaeru.com/_userdata/koukyo.pdf

■学生会館へのアクセス

地下鉄都営三田線・新宿線、東京メトロ半蔵門線「神保町」駅下車 A9 出口 1分、

地下鉄「竹橋」駅から徒歩5分、「東京」駅北口からタクシーで10分



検証 皇居周辺の景観 第一弾

丸の内マンハッタン計画から20年、丸ビル解体から10年を経て
2008年11月1日 土 午後7時~9時 学生会館 2階203号